



京機会ニュース

No. 27 平成22年(2010年)秋号

京機会事務局 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL&FAX:075-753-5183 URL:http://www.keikikai.jp/
E-mail:jimukyoku@keikikai.jp

★ AlumniプログラムII

西園寺公望が京都の別邸として使用していた屋敷「清風荘」が、卒業生限定で特別公開されます。



園の名称「清風荘庭園」

ご希望者は、時計台京大総合受付へ。
(公開日時:11月13日 10:00~12:00)

★ AlumniプログラムIII

■ 特別講演「はやぶさ7年の旅」

「小惑星探査機はやぶさ」のプロジェクトマネージャーである川口 淳一郎氏(S53)に、再び、アンコール特別講演を行っていただくことになりました。



イトカワに接近する「はやぶさ」

(画像提供:池下章裕/MEF/JAXA-ISAS)

● 秋季大会のご案内は、P3~5をご確認ください。



平成21年度学位授与式

～ 学部・修士・博士の130名が社会へ ～

平成22年3月23・24日に、機械理工学、マイクロエンジニアリング専攻(大学院)・機械システム学コース(学部)学生全員の出席を得て学位授与式を開催するとともに、エネルギー科学研究科、情報学研究科、エネルギー応用サブコースの学生とともに、23日に記念パーティーを開催しました。会長、専攻長、コース長からの祝辞、賞の授与と卒業記念品の贈呈がありました。



機械システム学コース卒業生

卒業・修了生の皆様、今後の活躍に期待します。



会費納入のお願い



本会の運営は皆様の会費によって支えられております。年会費は主に事務局の維持、ニュースの発行など全会員に関連する目的に使われており、各行事は主にそのつど追加で徴収する参加費で運営されております。これらの点をご理解の上、年会費をお納めいただきますようお願い申し上げます。なお、今年度より、各行事参加は当該年度の会費納入を前提とさせていただきますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

各位の会費納付状況は、ニュース同封の振込用紙に記入されております。



そうだ！ 京機会へ行こう ～京機会秋季大会へのお誘い～

今年の秋季大会は、会員とそこご家族にもお楽しみいただける企画内容をご用意いたしました。

講演会・総会の他に、機械系各研究室の研究公開や談話会および子供用のものづくりとパズル教室も開催します。また、当日はホームカミングデーも開催され、京都大学全体でも各種プログラムが用意されています。

皆様のご参加をお待ちしております。

★ Kids&Studentsプログラム

小学生も中学生も高校生も集まれ！京大の先生や企業の技術者と一緒に遊びましょう。



- びっくり箱を科学する
- 輪ゴム鉄砲を作ろう
- パズルに挑戦
- 蒸気ボンボン船を作ろう

★ Alumni&Studentsプログラム

■ 機械系オープンラボ企画

桂移転を2年後に控え吉田地区での機械系各研究室公開は最後の機会になる可能性があります。

ご卒業生は懐かしい研究室など教室風景をお楽しみ下さい。



京大オープンキャンパス2010の風景

また、中高生のお子様には、現在の機械系教室の様子を、ご両親と共に体感していただける良い機会です。

なお、オープンラボの詳細はP.4~5をご覧ください。

★ AlumniプログラムI

京都大学博物館で、「ホームカミングデー特別展～龍馬と半平太の手紙～」が公開されます。秋季大会当日は、卒業生ならびに同伴者は無料で観覧いただけます。(入館は16:00まで)



(写真提供:高知県立坂本龍馬記念館)

平成22年度京機会春季大会・総会のご報告



今回は、中国四国支部主催で、延べ137名という会員とご家族の方に参加いただき、盛況な総会となりました。

－ 特別企画 －

総会に先立って、特別企画が催された。Aコースは、JFEスチール(株) 西日本製鉄所(倉敷地区) 見学。Bコースは、岡山後楽園散策。合計で57名が参加。



－ 総会 －

吉田英生代表幹事(S53)の司会により開会し、久保愛三会長(S41)の挨拶後、吉田さんより平成21年度の活動報告、星出敏彦会計幹事(S52)より平成21年度会計報告および監査報告、平成22年度の会計計画があり、承認された。平田誠計さん(S43)より関西支部、中村吉伸さん(S48)より関東支部、太田誠一さん(S47)より中部支部、薦田哲男さん(S45)より中国・四国支部、千々木亨さん(S54)より九州支部の活動報告があった。次に吉田さんから京機会役員(案)について説明があり、承認された。

新代表幹事である北條正樹さん(S54)より、今年の運営方針について、総会は京大のホームカミングデイである11月13日(土)に開催予定であること、学生と先輩の交流会が11月27日(土)に分離開催することが報告され、承認された。



引き続き、フォーミュラカープロジェクトKARTの活動報告があった。

－ 技術講演会 －

講演会では、井上恵太さん(S36)より、「二宮尊徳の現代的意義」についての講演があった。二宮尊徳の人生を、立志、而立、不惑、知命、耳順にわけて紹介頂き、様々なエピソードを交えて、人間観察と状況分析に



基づいた農村復興法(仕法)をお話し頂いた。

次に、京都大学名誉教授・福山大学客員教授の井上達雄さん(S38)に、「たたらと日本刀の科学」と題するご講演を頂いた。



たたら製鉄と、それを用いた日本刀の製作技術について、素材の回覧も交えながら、先生が永年取り組んでこられた変態・熱・力学理論を応用した解析例とともにご紹介頂いた。奥出雲、備前長船など、日本刀やその材料の産地としても有名な中国地区での大会にふさわしく、大変興味深いお話でした。

－ 懇親会 －

懇親会は、参加者123名の大盛会となり、一同、料理と歓談を楽しんだ。



翌日(4月18日)は、懇親ゴルフが開催されました。



京機会春季大会 懇親ゴルフコンペに参加して (S60 松原 厚)

今回の総会で初めて、公式にゴルフコンペを開催していただきました。日時は総会の翌日の4月18日(日)で、コンペ会場は鷺羽ゴルフ倶楽部。当日は、これ以上ないという程良い天候に恵まれ、25名の京機会会員が参加しました。ゴルフコースは、瀬戸内海国立公園を眼下に抱き、ともかく歩いているだけで気持ちの良いコースでした。一同、好プレー、珍プレーを堪能した後、表彰式・懇親会でお互いの健闘をたたえあいました。

私自身はゴルフを始めたのは昨年で、当初、「メンバーにご迷惑をおかけしないでしょうか」と心配していましたが、「クラブを持って走って回れば大丈夫です」とアドバイス頂き、チャレンジ参加しました。結果、アドバイス通りになり、ブービーメカ賞(つまりビリ)を頂くことができました。次には、是非、ブービー賞を狙っていききたいと思います。

この場をお借りして、企画して頂いた三原豊さん(S43)と皆様に感謝の意を表します。

●平成23年度は関西地区、平成24年度は九州地区にて開催予定です。今後どうぞご期待ください。

平成22年度京機会秋季大会・総会開催のご案内



本大会を下記により開催致しますので、ご出席下さいますようお願い申し上げます。当日は、京都大学ホームカミングデーも開催されます。本会と併せてお楽しみ下さい。ご家族の参加も歓迎いたします。

日時：平成22年11月13日(土) 13:00~20:00

会場：京都大学時計台百周年記念館 百周年記念ホール, 工学部物理系校舎

行事：

1. <特別企画> オープン研究室 13:00~15:00 (会場：工学部物理系校舎)

機械系各研究室の研究公開や研究室単位の間窓会および子ども用のものづくりとパズル教室です。桂移転を2年後に控え吉田地区での機械系各研究室公開は最後の機会になる可能性があります。

● **詳細は次ページをご確認下さい。**

2. 京機会総会 15:45~16:15 (会場：百周年記念ホール)

3. 特別講演会 16:45~18:00 (会場：百周年記念ホール)

「はやぶさ7年の旅」川口 淳一郎 氏 (S53)

「小惑星探査機はやぶさ」プロジェクトマネージャー 宇宙科学研究所 (JAXA)

会員のご要望にお応えし、平成21年度春季大会に続き「はやぶさの旅」続編をご講演いただきます。



特別講演は、ホームカミングデー参加者にも一般開放され、16:15以降は、京機会会員の皆様にも入場制限させていただく可能性があります。混乱を避けるため、必ず事前に参加申込(同伴者も含)いただき、当日は、総会受付を15:15~16:00にお済ませください。総会終了後も、そのまま座席の確保をお願いいたします。なお、京機会会員の総会会場へのご入場は15:30からとなります。

4. 懇親会 18:15~20:00

会場：京都大学時計台百周年記念館、国際交流ホール

会費：4,000円 学生1,000円 会員ご家族は無料

● **講演会・総会は無料でご参加いただけます。**

● **ご家族のご参加も歓迎いたします。** ご家族のご出席も、大会参加申込時に、その旨ご回答下さい。

● **ご自由な服装でお越しください。**

● **11月1日(月)までに、同封のはがきもしくは、京機会ホームページ(<http://www.keikikai.jp/>)からの参加申込をお願いします。** (但し、二重受付登録防止の為、出欠回答はどちらか一方で結構です)

京都大学ホームカミングデー - 京機会秋季大会・総会と同日に開催されます -

当日は、百周年時計台記念館にて、記念講演会や記念演奏会(一般参加歓迎 定員500名(先着順))なども開催されます。スケジュールは右記表、また詳細内容は京大ホームページをご参照下さい。

【ホームカミングデー行事の一部ご紹介】

11:20~11:50 記念講演会①

「京都大学の世界戦略ー協調と競争をめぐる」
京都大学国際交流推進機構長 森 純一 教授

12:00~12:30 京都大学マドリオンケストラ記念演奏会

演奏曲「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」他

14:00~15:00 記念講演会②

「素粒子今昔」2008年ノーベル物理学賞受賞
日本学術振興会理事 小林 誠 博士

タイムスケジュール		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
全体会	百周年記念ホール		11:00~11:20							
記念講演会	時計台記念館 百周年記念ホール		11:20~11:50			14:00~15:00				
部局同窓会主催講演会	時計台記念館 百周年記念ホール								16:45~18:00	
記念演奏会	時計台記念館 百周年記念ホール			12:00~12:30						
懇親会	時計台記念館 国際交流ホール				12:50~13:50					
ホームカミングデー開催 総合情報誌		9:30~16:30 (入館は16:00まで)								
北野キャンパスアー 集合	時計台記念館1F受付 にて入場券配布							15:15~16:45		
清風荘見学	時計台記念館1F受付 にて入場券配布	10:00~12:00								
附属図書館見学	時計台記念館1F受付 にて入場券配布	10:00~16:00								
尊徳堂見学	京大図書図書集約	10:00~16:00								

特別企画
子どもコーナー
13:00-15:00
物理系校舎214室

■ **びっくり箱を科学する：**

いろいろなびっくり箱の仕組みを調べて、びっくり箱を自分で作ってみよう。だれをどんなふうに驚かそうかな。(高橋健司氏 S56卒)



■ **輪ゴム鉄砲を作ろう：**

割りばしと輪ゴムで鉄砲を作ろう。連発銃も作れるかな。(松久寛氏 S45卒)

■ **パズルに挑戦：**いろいろなパズルがとけるかな。(矢部寛氏 S35卒)

■ **蒸気ポンポン船を作ろう：**うまく走るかな。(巽和也氏 H9卒)

● **京機会ホームページ (<http://www.keikikai.jp/>) もしくは、同封返信はがきにて、必ず事前申込ください。**

研究室企画

■ **研究室ポスター・当日詳細：**

物理系校舎1階エントランスにて展示&掲示しております

～ 参加研究室より ～

■ **機械システム創成学分野(榎木、中西、堀口) 研究内容紹介、実験室見学**

環境適応制御に関する研究に用いている自律型無人ヘリコプタの展示をし、その応用まで含めた研究紹介を行います。また、人間の動作の解析・認識・再構成に関する研究も紹介いたします。

■ **生産システム工学分野(西脇、水山、泉井) 研究内容紹介**

生産システム工学研究室では、構造最適化、とくにトポロジー最適化の基礎および応用研究を行っています。トポロジー最適化は、最適化の過程で構造の形態と形状の両方を変更可能なもつとも自由度の高い構造最適化の方法です。当研究室では、この方法を用いて、新しい機能をもつ機械構造や、電磁波機能デバイスの設計、さらには近年注目浴びているメタマテリアルの構造創成設計を行う方法論を開発しており、その方法論から得られた成果について紹介します。

■ **適応材料力学分野(北條、井上) 卒業生懇談会、実験室見学**

メゾ研、適応材力研(落合庄治郎、北條正樹、安達泰治、田中基嗣、井上康博)卒業生の皆さん。気軽に集まってください。最近の研究をパネルおよび地下の実験室にて紹介します。特に、実験室見学希望の方は、13時に203室にお集まりください。

■ **熱材料力学分野(中部、巽) 研究内容紹介** (希望があれば実験室見学も可能)

伝熱機器、燃焼機器の小型、マイクロ化に伴う計測、制御技術の高度化や、医療分野をも視野に入れた細胞補足、選別等、マイクロ熱流体デバイス開発に関する研究を行っています。ご関心のある向きは是非、お気軽にお立ち寄り下さい。

■ **光工学分野(蓮尾、四竈) 実験室見学**

光を手段または対象として、プラズマ等の計測手法を開発しています。

■ **振動工学分野(松久、宇津野、山田) 卒業生懇談会、実験室見学**

振動研(佐藤進、松久寛、宇津野秀夫)卒業生の皆さん。皆さん集まって、昔話に花を咲かせましょう。また、最近の研究を実験室にて紹介します。



京大オープンキャンパス2010(平成22年8月11~12日開催)での松野教授の模擬講義および機械系教室公開の風景です。

■ 研究室ポスター・当日詳細：

物理系校舎 1階エントランスにて展示&掲示しております

～ 参加研究室より ～

■メカトロニクス分野(松野、福島) 実験室見学

メカトロニクス研究室のレスキューロボット、ヘビ型ロボット、群ロボットなどの紹介、実演を行います。

■機械機能要素工学分野(小森(雅)、野中) 研究内容紹介

精密計測の世界へようこそ。

■先端イメージング工学論分野(井手) 研究内容紹介

井手研究室では、開発したイメージング関連機器・ソフトウェアを紹介いたします。高精細・大容量のデジタル画像を、高速でスムーズに表示・閲覧できるシステムを使用したデモンストレーションを行います。

■ナノメトリックス工学分野(小寺、神野、横川) 実験室見学

電子機器、機械部品およびバイオ関連分野への応用を目的としたマクロデバイスに関する研究を行っています。特に、圧電薄膜の材料開発やその機能性を応用したマイクロデバイス、また生体分子モーターを用いたナノデバイス開発等、特徴的な研究を推進しています。

■ナノ・マイクロシステム工学分野(田畑、土屋、菅野) 研究内容紹介

ナノ・マイクロスケールの機械システムを研究対象としています。材料(マイクロナノ材料評価)、微細加工(三次元微細加工)、実装(セルフアセンブリ技術)、マイクロシステム(マイクロセンサ、アクチュエータ)などについての研究成果をご紹介します。

■ナノ物性工学分野(木村、鈴木、中嶋) 研究内容紹介

当研究室の研究内容紹介を予定しております。興味をお持ちの方はご参加ください。

■量子物性学分野(立花、瀬波、市川) 食事会(316室。14日の午後に行いたいと思っています。)

同窓会を研究室にて開催します。是非ご参加下さい。

■精密計測加工学分野(松原、茨木、河野) 実験室見学

精密計測加工学研究室の実験室をご紹介します。マシニングセンタや、工作機械のテストスタンドなどを見ていただき、現在の研究内容をご説明します。

■熱工学分野(吉田、岩井、齋藤) 実験室見学

本研究室では、次世代分散型エネルギーの担い手として脚光を浴びる燃料電池を中心に反応や相変化を伴う系を対象として、その現象解明と最適化を図る研究をおこなっています。

■共生システム論分野(川上) 研究内容紹介(※2号館 413室に於いて開催)

共生システム論研究室は、学部生は機械系から受け入れていますが、大学院生は情報学研究科に所属し、従来の工学的手法だけでは解決しない。人間-機械系、さらにはそれをとりまく環境まで考慮に入れた系における問題を扱っています。オープンラボでは、研究テーマのいくつかを紹介します。

● 今後参加研究室がさらに増える予定です。詳細はwebにも掲載します。

機械システム学コース

ナノメトリックス、材料、熱、振動、流体、マイクロシステム、生産、設計、システム、制御、マクロ

力学を基礎とした教育、研究を遂行し、自動車、電気機器、精密機器など、「日本のものづくり」を支える基盤的な分野から最新のシステム、ナノテクまで21世紀に活躍できる技術者と研究者の育成を目指しています。



オープン研究室会場(京都大学物理系校舎)へのアクセス

海外からのメッセージ (1)

海外からのメッセージの依頼を受け、かつ第一回の企画と伺い、経験の浅い私ではとためらいましたが、ご指名にあずかりましたので、思うがままに書かせて頂きます。



コロンバスの風景

セカンドストリート橋。奥に見えるのは1874年に建築されたパソロミュー郡裁判所。

昨年7月から、米国インディアナ州コロンバス市に住んでおります。50代半ばにして初めての海外赴任、しかもリーマンショックも覚めやらぬアメリカに。担当は、トヨタフォークリフトの北米事業(生産、および販売)の責任者です。

私の住む街は、アメリカ中西部。特徴ある建築の多い町として知られています。

「豊かな太陽の恵みと広大な大地」の中、トウモロコシと大豆畑一面ののどかで安全な町で、日系企業も多く進出してきています。しかし、冬は一転、曇天で零下の暗い世界です。ここは、これまで米国でも工場立地条件の良い州のひとつと聞いています。私も「インディアナ日米協会」の役員として、時々議論に参加させて頂いておりますが、如何せん、言葉の壁に苦勞しております。

TIEMは、今年操業20年を迎えました。これまでは「September 11th」の時を除き右肩上がり。昨年は、販売・生産共にピーク時の半分以下、今年の春頃からやっと明る



TIEM社全景

さが見え始めました。この一年、皆で何とか乗り切ってきたと言うのが実感です。業界、分野によって多少の差は有るものの、皆同じご苦勞をされているかと思えます。とは言え、この7月頃から米国の経済指標も若干弱含みで、しかもこの円高基調、まだまだ予断を許さない状況です。

当社も米国企業の一員ですが、日本の強みでもある品質管理、私どもの特徴でもあるトヨタ生産方式など、日系企業としての強みを出さなければ存在価値はないと信じています。

いずれにしても、経営者として、業績、雇用の維持拡大、更に地域貢献を念頭に、また工場をあずかる身としては、まずは安全第一、そして社員のモラル、モチベーション向上に心がけて行くことには変わりないと思えます。これらを、ここ米国で行うことはもちろん苦勞

はありますが、私自身大変勉強になります。

ある人が言っていました。米国に来て9年で帰国した時振り返ると、最初の三年は、言葉、生活、仕事、文化などに慣れるのにやっと。次の三年は、慣れてきて「なんとアメリカはわかり易い国か…」と思いついたものの、最後の三年で、米国の奥の深さがわかった。つまり、冗談もわかる位会話に入り込み、本音と建前の違い、平等意識の中でもいろいろな思いがあることを実感させられたと。

確かに、自由で、パイオニア精神に富み、皆礼儀正しく、交通マナーも大変素晴らしい。いつでもどこでも気持ちいい挨拶を受けます。しかし、国全体としてみると、まだまだ、犯罪、ドラッグの蔓延などと言う影の部分も否定できません。

一方、日本への理解度、関心の低さにも驚かされます。地元の有名大学で法学を学ぶ大学院生が、ある時私に真顔で「現在、日本には刀を差した侍は何人いますか？」と聞かれた時には、新渡戸稲造が英語で「武士道」を書いた時代に戻った気がしました。

この様な文化・慣習の壁には常にぶつかります。紙面の都合でご紹介できませんが、日々、奥深い国、社会の一端を垣間見えています。

最後に、後輩の皆さんに一言。今後皆さんも海外とのつながりができるかと思えます。もちろん、英語を勉強しておくことは大切です。しかし、もっと大切なことは、日本においても同様、まずは仕事ができ、皆とコミュニケーションがしっかりできること、そして日本の文化・歴史を理解しておくことだと思います。つたない経験からですが。



先日、仕事でもお付き合いのある京機会の先輩から、北米出張の際わざわざ私の所まで立ち寄って頂けるというメールを頂戴致しました。楽しみにしています。仕事のつながりだけでは味わえない暖かい絆を感じております。米国でも京機会の方がご活躍されているかと思えます。何かの機会に声をかけて頂ければ、日本とは一味違うお付き合いができそうです。

佐々木一衛氏：1977年学部卒 中井研出身。



**(株)豊田自動織機 取締役、
米国TIEM(Toyota Industrial Equipment Manufacturing, Inc.)
President & CEO他。
中部支部顧問**

平成22年度京機会役員（敬称略）

◎*は新任、正:は正幹事、副:は副幹事の略

【会長】久保愛三(S41)

【副会長】松久 寛*(S45)

平田誠計(S43、関西S)、中村吉伸*(S48、関東S)

太田誠一*(S47、中部S)、薦田哲男(S45、中四国S)

藤川卓爾(S42、九州S) ◎ Sは支部長の略

土田喜幸*(H22、学生会)

【監事】森 雅彦(S60)、川口東白(S34)

【代表幹事】正:北條正樹*(S54)

副:榎木哲夫*(S55)

【事務局長】矢部 寛(S35)

【常任幹事】

会長指名:熊澤正博(S43)、牧野俊郎(S47)、

吉田英生*(S53)

地区代表幹事:

(関西)牧野 真*(S55)、(関東)増本雄治*(S48)

(中部)久米建夫*(S55)、(中四国)平井悦郎*(S58)

大学側幹事:

(関西)正:中部主敬*(S56)、副:杉江俊治*(S51)

(関東)正:吉田英生(S53)、副:北條正樹(S54)

(中部)正:松原 厚(S60)、副:西脇眞二(S61)

(中四国)正:琵琶志朗*(H2)、副:安達泰治(H2)

(九州)正:井手亜里(S52)副:宮崎則幸(S47)

(名簿担当)中西弘明*(H3)

(広報:ニュース)正:松原 厚(S60)副:蓮尾昌裕(S61)

(広報:HP)泉井一浩*(H8)

(会計)木村健二*(S51)

(学生会)富田直秀(S54)

塩瀬隆之(H8)、河野大輔*(H8)

(教室代表:機械系)松野文俊*(S56)

(教室代表:エネルギー)石山拓二*(S53)

(教室代表:情報)杉江俊治*(S51)

学生会:河本正太*(H22)

【通信・情報担当】山田啓介(H14)

【顧問】中川 哲*(S38)

【運営委員会】運営委員長:吉田英生*(S53)

川口東白、北條正樹*、久保愛三、熊澤正博、

木村健二*、谷垣哲也(S56)

【会計オフィサー】山口美賀*(H16)

平成22年度京機会学年評議員（敬称略）

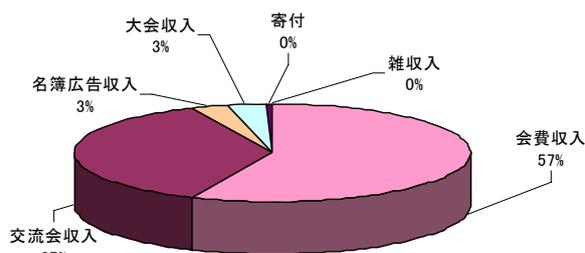
卒業学年	氏名	E-mail	卒業学年	氏名	E-mail	卒業学年	氏名	E-mail
1945	谷口 浩	無	1966	中嶋 邦彦	1966hyogiin	1988	玉川 雅章	1988hyogiin
1946			1967	藤川 卓爾	1967hyogiin	1989	石谷 善博	1989hyogiin
1947	岸本 雅夫	無	1968	来田 浩毅	1968hyogiin	1990	琵琶 志朗	1990hyogiin
1948	岐美 格	無	1969	並木 宏徳	1969hyogiin	1991	高橋 俊雄	1991hyogiin
1949			1970	各務 嘉郎	1970hyogiin	1992	須山 徹	1992hyogiin
1950	野木 圭三	1950hyogiin	1971	三津田恒夫	1971hyogiin	1993	岩井 裕	1993hyogiin
1951	吉川 和彌	1951hyogiin	1972	秋山 雅義	1972hyogiin	1994	茨木 創一	1994hyogiin
1952	山本 巖	1952hyogiin	1973	増本 雄治	1973hyogiin	1995	小森 雅晴	1995hyogiin
1953旧	乾 宰人	無	1974	荒川 善久	1974hyogiin	1996	泉井 一浩	1996hyogiin
1953	西田 弘	1953hyogiin	1975	塩路 昌宏	1975hyogiin	1997	佐野 智一	1997hyogiin
1954	岡崎 順応	1954hyogiin	1976	杉江 俊治	1976hyogiin	1998	浦木 亨弘	1998hyogiin
1955	田中 道七	1955hyogiin	1977	中井 善一	1977hyogiin	1999	藤本 亮	1999hyogiin
1956	橋本 昌	1956hyogiin	1978	上原 一浩	1978hyogiin	2000	小田 豊	2000hyogiin
1957	坂戸 瑞根	1957hyogiin	1979	坂口 保彦	1979hyogiin	2001	土井謙太郎	2001hyogiin
1958	野田 忠吉	1958hyogiin	1980	小寺 秀俊	1980hyogiin	2002	金田 靖弘	2002hyogiin
1959	柴田 俊忍	1959hyogiin	1981	榎木 哲夫	1981hyogiin	2003	吉富 聡	2003hyogiin
1960	矢部 寛	1960hyogiin	1982	上井圭一郎	1982hyogiin	2004	中安 祐貴	2004hyogiin
1961	井上 恵太	1961hyogiin	1983	永瀬 豊	1983hyogiin	2005	向 朋作朗	2005hyogiin
1962	吉岡 肇	1962hyogiin	1984	横小路泰義	1984hyogiin	2006	中務 陽介	2006hyogiin
1963	中川 哲	1963hyogiin	1985	田坂 誠均	1985hyogiin	2007	北川 優太	2007hyogiin
1964	垣野 義昭	1964hyogiin	1986	蓮尾 昌裕	1986hyogiin	2008	鯨岡 絵里	2008hyogiin
1965	能勢 博司	1965hyogiin	1987	川上 浩司	1987hyogiin	2009	松本 洋平	2009hyogiin

- 該当メールアドレスへ送信すると、学年評議員の京機会登録メールアドレスに自動転送されます。
- E-mailの@の後ろは「keikikai.jp」を入れて下さい。
- 本内容はある種の個人情報です。お取り扱いには十分にご留意下さい。
- 上記一覧の「E-mail」項目に「無」と記載されている場合、現時点では本連絡システムはご利用いただけません。
- 本連絡システムに対するご質問・ご意見ならびに学年評議員に関するご質問は、京機会事務局(TEL:075-753-5183 E-Mail:jimukyoku@keikikai.jp)までお寄せ下さい。

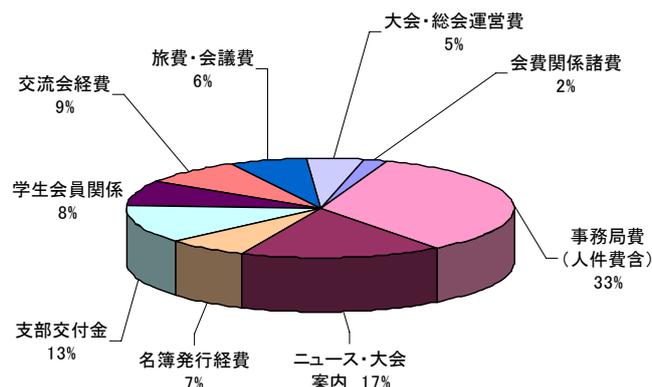
京機会会計の現状報告

平成21年度の決算は下記の表の通りです。収支がほぼ釣り合っているように見えますが、21年度から決算日を従来の2月末日から3月末日に変更したことに伴い、この年度に限り会計期間が平成21年3月1日から平成22年3月31日までの13ヵ月間という変則的な収支決算になっています。このため、会費納入の多い3月が2回含まれており、さらに、名簿発行年という特殊事情もあり、収支の実態が見えにくくなっています。平成21年3月分の収支を除き、名簿に関する収支を3年間で平均すると、平成21年度の収支の実態は右のグラフのように**約100万円の赤字**であることが分かります。大会・総会を含む各行事は、主にそれらの行事の際に徴収する参加費で運営されています。事務局の維持、名簿やニュースの発行など会員全員に関連する基本的な費用を、主に皆様の年会費により賄っていますが、このように多額の赤字が毎年発生している状況です。さらに、**第二世紀事業から支出いただいている共催行事費用もあり、実際の不足分はさらに多くなります。**これらの点をご理解の上、年会費をお納めいただきますようお願い申し上げます。

平成21京機会会計収入 -修正後- (1250万円)



平成21京機会会計支出 -修正後- (1347万円)



京機会平成21年度決算とH22年度予算

項目	H21年度決算(円) 2009/3/1~2010/3/31		H22年度予算(円) 2010/4/1~2011/3/31	
	収入	支出	収入	支出
ニュース関係		2,211,032		1,480,000
会員名簿	1,100,000	1,951,267		455,000
大会関係	402,000	2,448,092	480,000	1,900,000
学生・先輩交流会	4,600,000	470,139	5,000,000	500,000
支部交付金		1,708,496		1,513,000
特別戦略費		126,000		126,000
機械系教育補助費		1,129,268		1,106,000
学生会支援費		142,870		210,000
人件費		4,652,592		4,500,000
旅費		629,460		608,000
会議費		236,598		220,000
事務局費		183,433		182,000
会費関係	9,982,000	263,232	7,400,000	200,000
雑収入	5,506		102,000	
寄付金	51,270		18,000	
特別損失		18,000		
単年度収支合計	16,140,776	16,170,479	13,000,000	13,000,000

会費納入のお願い

平成22年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本を支えている製造業を推し進めてゆく活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤としております。是非、会費納入にご協力ください。会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用下さい。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。

会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

本年度以前の会費が未納の場合には、ぜひ本年度分と併せて納入下さい。また、ご寄付をいただける場合や

永年会員登録には、必ず金額等を所定欄にご記入いただきますようお願いいたします。

●インターネットバンキングもご利用できます。

下記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込下さい。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします(海外送金は除く))

口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

ゆうちょ銀行 〇九九店(099) 当座預金 0116821

みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630

郵便振替口座 00990-8-116821

詳細は京機会ホームページ(<http://www.keikikai.jp>)の「会費納入のお願い」のページをご覧ください。

会計関連のお願い

●クレジットカードによる会費納入も可能です。

上記京機会ホームページの「会費納入のお願い」のページから会費納入用紙をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、指定連絡先へFAXでお送り下さい。

●永年会員登録のお勧め

1972年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費はなく生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金は致しません。)

●京機会費自動引落のお勧め

各位の振込みの手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落にさせていただくことを、是非お願い申し上げます。

申請用紙は、毎年、京機会ニュース春号に同封しております。(今号は特別同封しております。)

また、左記京機会ホームページの「会費納入のお願い」のページからダウンロードできます。振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用下さい。

なお、ご利用時は右記注意事項をご確認下さい。

①申請依頼書は下記京機会事務局宛にご郵送下さい。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学工学研究科 機械系教室内 京機会事務局

②今年度分の会費は来年6月に来年度分とまとめて引き落とされます。再来年以降は6月にその年度の会費が引き落とされます。

ご寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げると共に、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成21. 22年度ご寄付者 (H22. 2. 16~22. 9. 12)

下間 頼一様(1950)	大路 清嗣様(1953)
仁科 稜三様(1958)	柴田 俊忍様(1959)
中川 哲様(1963)	杉山 謙吾様(1968)
西田 光男様(1970)	上田 陽一様(1980)
浅田 和彦様(1990)	柴田研同窓会一同

就任

◆**安達泰治教授**：H2神戸大・工・機械卒、H4阪大院・基礎工・機械修士修了、H9博士(工学)。H4神戸大・工・機械助手、H10同大学院・工・機械助教授、H16京大大学院・工・機械助教授、准教授を経て、H22本学再生医科学研究所教授。理化学研究所細胞シミュレーションチームリーダ兼務。生体組織・細胞の適応バイオメカニクスに関する研究に従事。



◆**花崎秀史教授**：S59 東大・工・物理工学卒、S61同修士課程修了、同年、環境庁国立公害研究所(現：国立環境研究所)研究員、H6 同主任研究員、H9～16東北大学助教授。この間、H6～7ケンブリッジ大学客員研究員、H8～12 東大・工・機械 助教授(併任)。H16本学・機械工学専攻・助教授、H22.7.16～ 本学・機械理工学専攻・流体物理学分野 教授。流体力学、特に、成層・回転流体、乱流熱物質輸送、非線形波動などの研究に従事。



◆**巽 和也准教授**：H9京大・工・機械卒、H11同大学院工学研究科・修士課程 修了、H15同博士後期課程修了、H19.4.1本学機械理工学専攻助教、H22.4.1同准教授。微小流路内における流体温度計測、細胞を含む流れや磁場印加流れ、非ニュートン流に関する計測及び数値解析に関する研究に従事。



教員の就任

◆**木下勝之准教授**：H12京大・エネ科・博士後期課程修了、H12山口大・工学部・機械工学科助手、H18同学・理工学研究科講師、H22.4.1本学エネルギー変換科学専攻准教授。機能材料と電磁現象を組み合わせた非破壊評価手法に関する研究に従事。



◆**堀部直人助教**：H14京大・工・物理卒、H16大学院エネルギー科学研究科・修士課程修了、H22同博士後期課程修了、H22.4.1エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻助教。内燃機関、特にディーゼル機関の性能向上(熱効率向上、排ガス低減、静粛性向上)のための燃焼改善に関する研究に従事。



◆**安部正高助教**：H17京大・工・物理工学卒、H18同大学院エネルギー科学研究科・修士課程修了、H21同博士後期課程修了、日本学術振興会特別研究員(PD)を経てH22.4.1本学エネルギー変換科学専攻助教。非線形連続体力学に基づく磁性材料の磁氣的・力学的挙動の解析、および、その応用としての磁氣的非破壊検査技術の研究に従事。





平成22年上期 活動報告

関西支部では、来年度関西支部が主催する春季大会に備えて準備委員会を立ち上げ、来場者200人を目標に元気に活動しております。

平成23年度新年会・総会のお知らせ(重要)

平成23年度も下記の通り、総会・新年会を予定しております。

なお、平成23年度総会・新年会のご案内は、本記事と、年末に改めてお送りするメールのみになります。

昨年同様、往復はがきによるご案内はありません。

参加お申込は、原則としてホームページからのエントリーとさせていただきますが、インターネットをご使用されない方につきましては、本京機会ニュースに同封しました別紙をご参照の上FAXでお知らせ下さい。

開催日：平成23年1月15日(土)

場所：ホテルグランヴィア大阪

内容：15：00 ～ <特別企画> リライト講演会

17：00 ～ 総会

17：45 ～ 新年会

出来る限り経費を節約し活動の充実に活用していきたく、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

■ 産学懇話会

第33回：平成22年10月9日(土) 13:30～18:30

京都大学機械教室216室にて開催

①「オンオフ型入力で高性能を目指す制御法について」
杉江俊治氏(1976年卒) 京都大学情報学研究科

②「日本のISO戦略」

吉岡 肇氏(1962年卒) 一志(株)顧問、(元)三菱重工業

③「微小流路内の熱流動計測とその応用」

巽 和也氏(1997年卒) 京都大学機械理工学専攻

④懇親会 (1500円)

■ MOT研究会(京機会サロン)

第39回：平成22年7月14日 大阪弥生会館 参加者15名

「芸術のための科学技術」 京都大学の井手亜里氏(S52)に、二次元文化財に特化したイメージング技術と、

「国際デジタルミュージアム基盤構築」をテーマとした研究か活動のご紹介を通じて、先端イメージング技術が文化財の保護と活用にかに寄与できるか等について論じていただきました。なお、講演会の後、新しい試みとして、幹事企業から中堅メンバーを募ってMOT企画委員会を発足させ初回会合を13名の参加者で開催しました。更なる活性化に向けて新企画を創出していきます。

第40回：平成22年7月31日(土) 国立文楽劇場 参加者はご家族を含め、文楽鑑賞33名、懇親会23名でした。

演目は「菅原伝授手習鑑」と「日本振袖始」でした。歌舞伎や浄瑠璃の三大名作の一つといわれる「菅原・・・」

では、京北の芹生がその舞台と伝えられております。

演目は「菅原伝授手習鑑」と「日本振袖始」でした。歌舞伎や浄瑠璃の三大名作の一つといわれる「菅原・・・」では、京北の芹生がその舞台と伝えられております。

・若手交流会

第4回：平成22年5月15日(土) 場所：京都祇園周辺

参加者：18名(会員 9名、家族 4名、友人 5名)

内容：扇子の絵付け体験、及び天台宗青蓮院などの散策など、初夏の京都を満喫しました。



第5回：平成22年8月7日(土) 場所：神戸異人館など

参加者：12名(会員 8名、家族 4名)

内容：神戸異人館の散策、及びみなと神戸花火大開の観覧を行ないました。

■ 異業種交流会

第29回：平成22年10月15日(土) 13:30～

会場：JR西日本 網干総合車両所

◇車両所施設の見学と講演

①「JR西日本におけるCO₂削減の取組み」 小林 聡氏

②「網干総合車両所における検修リスクマネジメント」

久保田修司氏

◇18:00頃 姫路駅付近で懇親会(懇親会費:3000円)

詳細は、京機会ホームページをご確認ください。

■ KMC(京機会MOTセンター)

KMCのコーディネートにより、平成22年5月19日、京都大学産官学連携本部と大阪ガスの間で、エネルギー環境分野など多様な分野における技術開発や事業化の加速を目的として、包括的な連携協定書が締結されました。

また、大阪ガスに引き続き、京都大学産官学連携本部と共同で、関西の大手企業との連携協議を進めています。これらの活動は、KMCのオープンイノベーション支援活動によるものです。

■ 京機九日会

平成22年は昭和39年卒組が幹事を担当します。

最近の実績は下記のとおりです。

4月9日「工作機械の歴史と現在」垣野義昭氏(S39)

6月9日「南極紀行」長井俊彦氏(S39)

8月9日「空手・少林寺拳法・そして太極拳」

村田哲也氏(S39)

また、10月には右記の卓話のあと、恒例の懇親会を開催しますので、予め幹事にご連絡下さい。

■京機九日会

平成22年10月12日(火) 講演者:榎木哲夫氏(S56)

「京都大学機械関連教室の動向」

場所:大阪堂島 中央電気倶楽部 時間:11時~14時

幹事:垣野義昭(代表) 澤田、長井、村田

■京機・京都の会

京都近辺の京機会会員交流会を、3・7・9・12月の第一土曜日、ウエスティン都ホテル(三条、蹴上)で11時から開催しています。毎回40分程度の話題提供の後、会食・懇談の楽しい一時を過ごしています。

今年の実績と予定は下記のとおりです。

3月6日「活性化のためのコラボレーション理論の提唱」

吉村允孝氏(S43)

7月3日「振動工学における最近のカオス研究」

中井幹雄氏(S37)

9月4日「アンコール遺跡群訪問の印象」

柴田俊忍氏(S34)

12月4日(土) 話題提供は未定

参加希望の方は幹事の藤尾博重)、森淳暢までご連絡下さい。

平成23年度 春季大会・総会のお知らせ

平成23年度京機会春季大会・総会は、平成23年4月17日(日)に、大阪中央公会堂に於いて、関西支部主催により開催いたします。

今回の大会コンセプトは「**家族ぐるみで楽しめるおつきあい**」です。

詳細は、次号(2011春号)でご紹介いたします。

皆様、ご予定の程よろしくお願ひ申し上げます。



大阪中央公会堂

九州支部からのお知らせとご報告

九州支部 平成22年<秋の行事>のご案内

日時:平成22年11月6日(土) 場所:北九州市

第一部:見学会・総会 13:00~15:15

13:00 TOTO(株)小倉第二工場 見学会

14:45 総会

第二部:見学会 15:45~16:45

15:45 松本清張記念館

<http://www.kid.ne.jp/seicho/html/index.html>

第三部:懇親会 17:00~20:00

17:00 松柏園ホテル <http://www.shohakuen.com/>

懇親会費:本人 ¥8,000.-、家族 ¥5,000.-

第四部<オフション:翌日行事>:

下関海響マラソン

<http://kaikyomarathon.jp/outline.html>

●見学会・総会ご参加の方は、

12:30 JR朽網駅前(日豊本線)に集合下さい。

(タクシーにて会場に移動)

●懇親会のみご参加の方は、

直接会場(松柏園ホテル)に、おいで下さい。

参加申し込み方法:

京機会HP、同封返信葉書でのご登録か、または下記幹事宛にメールにてお申し込み願ひます。

第一部、第三部のみのご参加も歓迎いたしますが、その旨明記願ひます。

幹事:

京機会九州支部 事務局長 TOTO(株)衛陶設計部 衛陶図面センター所長 入船 佳津一(S60)

九州支部H22<春の行事>の報告

平成22年3月27日(土)~28日(日)に、長崎県壱岐島にて京機会九州支部のH22年春の行事を開催しました。ご夫妻での参加も3組あり、総勢17名となりました。

3世紀ころ「魏志倭人伝」に「一支(いき)国」の名で登場する「原の辻遺跡」を見学し、オープン直後の壱岐市立一支国博物館で、井手副支部長(S52)の「芸術のための科学技術・京都よりの発信」と題する講演会の後、民宿繁家千賀荘で懇親会を開催しました。

翌日は、鬼の足跡、砲台跡、猿岩、左京鼻等海岸線をめぐり雄大な自然を満喫しました。焼酎工場の見学、試飲、壱岐牛の昼食のあと芦辺港から博多港に帰りました。



原の辻遺跡



懇親会

鬼の足跡



支部だより

中部支部からのお知らせとご報告

中部支部総会の報告

日時:平成22年4月10日(土) 15:30～

場所:株森精機製作所 名古屋本社

参加人数:84名(新入会員10名を含む)

講演:「太陽光発電の現状と将来展望」

寺川 朗氏(H2) 三洋電機(株)

「モノづくりを活性化し不機嫌を解消する

コラボレーション理論」

吉村允孝氏(S43) 京都大学名誉教授



平成22年度中部支部役員

支部長	太田誠一(S47)
副支部長	松原 厚(S60)、西脇眞二(S61)
副支部長	伊勢清貴(S53)、鎌居健一郎(S53)
副支部長	川島理生司(S56)
事務局長	久米建夫(S55)
事務局次長	河野恵介(S58)
監事	中西 清(S43)

若手の会イベント第一弾 浜名湖編 の報告

日時:平成22年5月15日(土) 9:00～

場所:浜松 渚園&浜名湖

次代の中部支部を担う若手メンバーが企画したイベントです。初夏の1日を「つり+BBQ+ボーディング」で楽しく過ごしました。

第二弾は10月3日「若手と壮年のペアゴルフ」です。

技術交流会の報告

日時:平成22年7月27日(火) 14:00～

場所:三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所

参加人数:39名

小惑星探査機「はやぶさ」の帰還で注目されている航空宇宙産業の中核を担う、三菱重工飛島工場を見学しました。



平成23年度支部総会は、来春4月に開催予定です。詳細は次号(2011春号)でご紹介いたします。皆様、ご予約の程よろしくお願ひいたします。

中国四国支部からのお知らせとご報告

平成22年度京機会春季大会・総会の報告

中国・四国支部主催により、平成22年4月17日(土) h ホテルグランヴィア岡山にて開催されました。皆様のおかげで、当日は137名の方々に参加いただき、大変盛況な総会となりました。

懇親会は、卒業年代ごとの各テーブルよりスピーチをいただき、近況や思い出を共有できた楽しいひと時となりました。大会・総会主催は初めての経験であり、全国の会員の皆様が、当地まで足をのばしていただけるかと心配していましたが、杞憂でありました。関係者一同、大変感謝しております。ありがとうございました。



総会の様子はP. 2にも掲載しております。

平成22年度支部総会の報告

平成22年4月17日(土) ホテルグランヴィア岡山にて、支部運営会議および支部総会を開催いたしました。

活動報告、予算報告、役員選、本年の計画を報告・審議しました。

技術交流会のご案内

日時:平成22年10月16日(土) 14:30～19:50

見学会:坂出LNG基地および坂出發電所、

見学会後、運営会議(支部役員のみ)および懇親会(全員)を開催します。詳細は、Eメールおよび本部HP掲載にてお知らせしております。

坂出は四国の玄関口。アクセスもしやすい場所ですので、多くの方のご参加をお待ちしております。

平成23年度支部総会のご案内

平成23年2月5日(土)に、支部総会および異業種交流会を広島で開催する予定です。

詳細は、追ってご連絡いたします。万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願いいたします。



平成22年度上期活動報告

関東支部では、昨年度から若手活性化活動に加え、本年度から同好会活動も開始いたしました。

平成22年度総会・新年会のご案内

平成21年度は、総会に63名、新年会に76名のご参加をいただき、盛況に開催いたしました。リカレント教育講座には安達泰治准教授(H2、現再生研教授)に、特別講演には矢部 寛名誉教授(S35)にお越しいただきました。関東支部では、住友重機械工業㈱の中村吉伸様(S48)を新支部長とする新体制で臨むことを確認いたしました。

今回は、以下の日程で開催いたしますので、積極的なご参加をお願いいたします。

平成22年度総会・新年会のお知らせ

日時：平成23年1月22日(土)

場所：日立金属 高輪和彊館
(品川駅から徒歩10分)

内容は、リカレント教育講座の開催、特別講演を計画しております。詳細案内は後日ご案内しますので皆様のご参加をお願い致します。



第10回(H22.1.23)支部総会・新年会の様子

第9回関東支部異業種交流会のご案内

昨年は、IHI横浜事業所で造船工場の見学などを実施し、44名が参加いたしました。本年は、日本IBMにて近日開催する予定です。詳細は後日ご案内しますので皆様のご参加をお願い致します。



第8回異業種交流会(H21.9.18)の様子

若手の会のご報告とご案内

第4回の若手の会は、あいにくの雨でしたが、7月11日に神宮外苑森のビアガーデンにて開催しました。今回は9名の参加となりましたが、次回の企画検討などを行いました。



第5回は10月下旬に江戸情緒を意識した企画を計画しております。詳細案内は後日ご案内しますので若手に限らず、皆様のご参加をお願い致します。

関東支部ゴルフ会のご報告

関東支部ゴルフ会を今年度から発足させ、第一回を平成22年9月24日に江戸崎カントリー倶楽部にて開催いたしました。

写真同好会の報告

江上副支部長(S44)の計らいで、第1回の写真同好会を開催(5月15日、鎌倉)しました。天候にも恵まれ、楽しく1日を過ごしました。作品は、関東支部HPに掲載しておりますのでご覧ください。



京機会・京機学生会SMILE
学生と先輩との交流会のお知らせ

日時：平成22年11月27日(土)
10:30 ~ 20:00

会場：京大時計台百周年記念館
国際交流ホール・記念館大ホール

- 本年度は京機会秋季大会と分離開催となります。
- 本年度は8月20日付で京機会員在籍企業約250社宛に案内発送し、先着順にて参加企業を決定いたしました。上記登録済250社以外で次年度に案内送付を希望される企業は京機会迄ご連絡下さい。



～ 学生と先輩との交流会とは ～

本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、平成11年より実施しております。本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会の仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただいております。例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。毎年、約100社の企業にご参加いただき、各社からも好評いただいております。



京機会学生会SMILEからのお知らせとご報告

平成22年度上半期の活動

◆インターン博覧会2010

日時:平成22年5月27日

参加学生:約70名(主に修士1回生、学部3回生)

内容:インターンシップとはどういうものかを、先輩方にパネルディスカッションの形で発表していただきました。会場からもたくさんの質問が寄せられ、皆さんも熱心に聞いていました。後半には、先輩方と自由に会話できる時間を設け、自分の興味ある分野の先輩方の所へ行き、積極的に話を聞いていました。



◆講演会・学生総会・研究室代表

日時:平成22年7月2日 参加学生:約150名

講演者:小澤 三敏 様(住友重機械工業㈱)

内容:住友重機械工業㈱相談役の小澤様に講演していただきました。表題は「社長になりたい人への助言」です。リーダーシップの向上方法などをわかりやすく図を用いて説明していただき、トップリーダーを目指す意志を持って欲しいと学生に向けて話されていました。30分という短い時間ではありましたが、参加学生からは大変好評でした。学生総会では、学生会執行部SMILEの前年度活動報告、SMILEの位置づけの説明、役員選挙、新年度の活動報告を行いました。今回からは、京機会との連絡役として新たに選出した各研究室からの代表会員が出席しています。新メンバーも加え、新しいSMILEのスタートです。

平成22年度下半期の活動

◆中部工場見学会・関東工場見学会

日時:【中部】平成22年9月16日～17日

【関東】平成22年9月29日～30日

昨年に引き続き、今年度も中部工場見学会を実施いたしました。見学先はトヨタテクノミュージアム産業技術記念館、デンソー、豊田自動織機、三菱自動車工業です。また、例年冬に実施されている関東工場見学会ですが、今年は秋に実施いたしました。見学先は住友重機械工業、JFEスチール、IHI、富士フィルムの4箇所です。両見学会とも最新の技術に触れることができ、OBの方との交流もありまして、参加学生にとってとても有意義な時間となりました。

◆学生と先輩との交流会について

日時:平成22年11月27日(土)

場所:京大百周年時計台記念館国際交流ホール

今年も昨年と同様に、時計台記念館国際交流ホールにて「学生と先輩との交流会」を実施いたします。100社以上の企業の方をお呼びして行われる個別ブース交流会、学生とOBの方が気軽に話をしていただけるような懇親会、更に今年はキャリアデザインについての講演会とパネルディスカッションも予定しております。

参加学生は勿論のこと、お越し頂いたOBの方にも有意義な時間となるよう企画しております。これを機に、学生とOBの方との理解と絆がより深まればと考えおります。ご協力の程宜しくお願い致します。

学生KARTからのお知らせと報告

第7回全日本学生フォーミュラ大会(平成21年9月9日～12日)において、私たちは、全チーム中17位という不本意な結果を残してしまいました。私たちは、その結果を重く受け止め、次の大会では必ずや雪辱を果たす、と心に誓い、この一年活動を続けてきました。

今年度は、年度初めの計画よりも早い3月頭に車輛を完成させることができました。これは、「KAIZEN」を車輛製作のコンセプトに掲げ、徹底した製作スケジュールの管理を実行したことによる結果です。車輛完成以降は、できる限り週に1回は走行会に繰り出し、車輛の問題点の洗い出しを行いました。さらに、初期不良を改善した後、エンジンの空燃比調整、足回りのセッティング変更や、新たなパーツの投入を実施しました。これも、車輛の早期完成のお蔭で、これまでは車輛を作ることに1年の大半を使っていたのに対し、今年度は車輛を速くすることに多くの時間を割くことができました。

また、大会における点数の取り溢しがなく、車輛の製作面だけでなく、大会への書類提出や、大会において発表しなければならない設計・コスト・販売戦略についてのプレゼンテーションにも早い段階から力を入れて準備をしました。5月には新たな試みとして、KARTの

OBの方々を招き、プレゼンテーションを実際に見ていただくことで、企業側からの目線で評価を頂き、更にプレゼンテーションの質を上げることができました。

2010年度は、私たちKARTにとって新しい1年となりました。これまで、スケジュールの遅れによる車輛の熟成不足、提出書類の不備などが問題としてあげられていました。今年度は、スケジュールの管理に成功し、これがこれからのKARTの礎となると考えています。



2010年度も常日頃お世話になっている方々のご恩に報いるために、そして自分たちの威信をかけて、精一杯活動を行っていきたいと考えています。私たち京都大学フォーミュラプロジェクトKARTに温かいご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。

京都大学フォーミュラプロジェクトKART
2010年度プロジェクトリーダー 高橋忠将(B4)



<速報:京機会事務局より>

第7回大会から1年。第8回大会で85チーム中、総合9位の好成績を残されました。(P.16参照)

会員のページ

50年会(昭25年卒)2010年春季大会総会

日時:平成22年5月17日(月)

場所:(社)大阪倶楽部 出席者:7名

新緑が目にもぶしい季節、例年通り大阪倶楽部で開催した。今年は卒業60周年にあたり出席者全員から大学時代の思い出などを語って頂いた。興味深い話などあり、この際、五十年会全員からも思い出文を募集をして簡単な文集を作成することになった。近況報告では、齢を重ねると共に健康面に欠陥を生ずる人も出てきているが、昨年定めたように年に1回5月第3月曜日に例会を開催してお互いの近況を確認することとしている。

従って次回は平成23年5月16日(月)大阪倶楽部で開催する。また五十年会幹事は、下間、小澤より福井、合田に変更となった。(小澤記)



洛友会(昭29年卒)関西地区会

日時:平成22年5月10日 12時~14時

場所:大阪倶楽部 出席:12名

嶋本会員が春の叙勲 瑞宝中綬章

クラスメイト集まって胴上げでもしたいところですが、上げる方も上げられる方も数え年80歳とあっては体力的に無理。当日嶋本氏は欠席でしたので胴上げはできませんでしたが、欠席通知には「パソコンをWindows7に買い替えた」とのこと、絶えざる向学心に感銘を受けました。関西屈指の倶楽部で花外楼のフルコースを楽しみながら心置きなく歓談することは将に至福の時でありました。

次回は平成23年5月第2月曜日、新幹事(安藤、岡崎両氏)のお世話で大阪倶楽部にて開催予定、関東在住者の参加も歓迎です。(下田記)



昭和42年卒同期会

平成22年6月11日(金)、東京北品川の「金時」で恒例の京機会S42年組の集いを開催しました。

関東在住者を中心に仙台、静岡からの参加者もあり15名集まりました。

出席者:安藤、市原、岡、清野、後藤、曾田、長崎(幹事)、藤川、古川、前野、間瀬、松浦、元木、若園、渡邊



晦日会(河本研究室)同窓会

H22晦日会が、平成22年8月28日にホテルグランビア大阪 19階アブで12名が集まり開催されました。話が弾み、3時間ほどが瞬く間に過ぎました。今回から8月最終土曜日に開催することになりました。平成23年は8月27日(土)17時から同場所で行います。

ご関心の方は幹事 川合までご連絡下さい。



京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)でお願いいたします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただくことがあります。また、お送りいただいた写真は返却いたしません。ご了承下さい。画像ファイルも可能です。

次号(2010秋号No. 28)の締切は12月末日です。

編集担当:松原 厚、蓮尾昌裕、小森雅晴、段 智子、中尾美江(第二世紀事業会)

会員のページ

昭和40年卒(4040会)同窓会

1965年(S40)卒の同窓会を4040会と申します。若い時代はみんな寄り寄りといき盛んでしたが、70に届く年齢になると皆さんそれぞれヨレヨレを自覚することの多いこのごろです。しかし4040会はいつも若々しい活気に溢れ、ひと時のタイムスリップを実感する憩の場です。いつのころからか毎年開催することになり、ご夫婦での参加も歓迎、それでは観光もかねてと、京都、大阪、神戸と毎年開催地を変え、本年は名古屋犬山ホテルで初の全員宿泊、浴衣姿での4040会となりました。大家族の集合体でもありました。

幹事さんは毎年持ち回りで、幹事さんの好きな場所を同窓開場に選んでもらうことにしております。来年は奈良にしようとする幹事さんからの挨拶がありました。それまで健康に十分留意し、来年の4040会を楽しみにすることと致しましょう。(細田記)



昭和47年卒同窓会のご案内

昭和47年卒業生の同窓会を開催します

11月13日(土)京都大学ホームカミングデイの日、京機秋季大会・総会前に、昼食会の形で、機械系教室にて昭和47年卒業生の同窓会を開催します。本年3月末で全員が60歳を超えたのを期に、桂キャンパス移転前に、吉田キャンパスに集いませんか。

詳細は往復葉書でご案内中です。(秋山記)

昭和54年卒同期会(東京)開催のご案内

昨年京都で開催された同窓会に引き続き、今年は東京で同窓会を開催することにいたしました。奮ってご参加下さい。

日時:2010年10月23日(土) 午後5時～

場所:東京ガス青山クラブ

(東京都港区南青山6-12-5)TEL:03-5466-9500

会費:8,000円(予定)

問い合わせ先: 村田裕幸

詳細については別途メールにてご案内しています。

京機WEB「同窓会・同期会」から申込み可能です。

京機会員・敦煌訪問報告

井手教授(S53)と方素平教授(西安交通大学、S59)が主宰した亜州世界文化遺産デジタル国際会議に便乗して、京機会員14名が6月23～29日に西安・敦煌の旅をしました。西安では会議に参加し、陝西省博物館で非公開の唐代壁画などを見ました。敦煌では、莫高窟や中国文物研究所などを訪問しました。文化の香りに満ちた楽しい旅でした。(松久記)



京都大学KART 総合第9位に躍進!

エンデュランス賞2位・日本自動車工業会会長賞受賞
おめでとうございます

平成22年9月7日(火)～11日(土)に、第8回 全日本学生フォーミュラ大会がエコパ(小笠山総合運動公園・静岡県)で開催されました。

途中台風による一時待避などがありましたが、3日間の競技を無事終えた結果、京都大学KARTはエンデュランス賞2位と日本自動車工業会会長賞を受賞、総合順位9位を獲得しました。

詳細については京機短信で報告しています。

皆様多数のご支援ありがとうございました。

大会出場の車体は、秋季大会当日、オープン研究室企画会場(物理系校舎)で展示される予定です。



KARTホームページ: <http://www.formula-kart.org/>



<京機事務局より>

平成21年11月の総会から「京機」を、「京都大学機械系同窓会」の正式名称として使用しております。